

# 一コース専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 主なニュース

- ① 育友会定期総会 新会長に小海さんを選出……………
- ② 【Globalization】ブータンでGKコーチ 田巻さん……………
- ③ 学校法人専修大学 事業報告概要・決算概要……………
- ④ 学食命名「スカイテラス」と「赤れんが食堂」……………
- ⑤ ⑥ ⑦ 石巻専修大学 経営・浅沼ゼミ「石商マーケット」に協力……………



▲赤れんが食堂

Meet.  
専大で会おう。  
Senshu University

OPEN CAMPUS  
予約制

神田	7.9	田
	8.26	田
	8.27	田
生田	8.5	田
	8.6	田
	2024 3.24	田

10:00▶15:00  
入学センターインフォメーション  
[神田キャンパス]TEL.03-3265-6677  
[生田キャンパス]TEL.044-911-0794

## Siデータサイエンス教育プログラム

### 「応用基礎レベル」 全学でスタート

本学では、デジタル社会で求められる「数理・データサイエンス・AI教育」に関して、大学全体として推進するため、2022年度から新たな教育プログラム「Siデータサイエンス教育プログラム=Socio intelligence Data Science program (SiDS)」を開始した。全学部全学科で「基礎リテラシーレベル」を、ネットワーク情報学部で「応用基礎レベル」を開講したのに続き、今年度は全学部全学科で「応用基礎レベル」が始まった。

#### 情報化社会に対応

本学が掲げる「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」の一翼を担うものであり、情報社会を生き抜く力を身につけ、社会の諸課題を解決する手段を養うことを目的とし「基礎リテラシーレベル」の開講科目は1年次から履修でき、基礎的な情報処理、データ分析、情報倫理を学ぶ。初年度の22年度は全学部学科で約3000人が履修した。

#### 新たな知を創出

今年度、全学部でスタートした「応用基礎レベル」は、ネットワーク情報学部の専門科目「特殊講義(人工知能入門)」「特殊演習(データ・AI活用)」を全学公開科目として開講しているほか、各学部学科で定められた専門科目等も用意している。今年5月、「基礎リテラシーレベル」(全学部)と「応用基礎レベル」(ネットワーク情報学部)について、申請した。

ネットワーク情報学部の応用基礎レベル科目「基礎演習S」では、グループワークでデータ分析力などを身につける



### 進化する学修環境 BYODとVDI導入

データサイエンス教育と同時に、本学では最新のデジタル環境を学生生活に活用する環境づくりを進めている。今年度から、教育・研究用コンピューターシステムを、従来の端末室における実習を中心としたものから、クラウド環境を利用するものに転換した。

個人所有のパソコンを授業などで活用するBYOD(Bring Your Own Device)と、仮想デスクトップ基盤(VDI:Virtual Desktop Infrastructure)を導入。学内の端末室に限定されることなく、いつでも、どこでも学ぶことができる。VDIにより、教員と学生に同じデスクトップ環境が提供されることになり、これまでの端末室で共通のパソコンを利用していた時と同様の学修効果が得られる。

BYODパソコンは演習や授業での活用のほか、オンデマンド・オンライン授業の受講、レポートやプレゼンテーションの作成、課外活動などさまざまな場面で利用が可能である。

### 楽しみながらデータサイエンスと付き合おう

数理・データサイエンス・AI教育運営委員会委員長  
情報科学センター長

高橋 裕 商学部教授

学問領域のみならず社会のさまざまなセクションで、コンピュータやデータサイエンス、AIと無縁な分野はありません。そうしたなか、本学が実施しているSiデータサイエンス教育プログラムでは、データを活用し、専門知識と組み合わせ、課題を解決する力をつけます。すべての学生を対象としており、専修大学

での学びの大きなポイントとなります。学生の皆さんは知識と技術が身につくだけでなく、先生方から提示された応用のほかに、自分自身で「これはデータサイエンスやAIを使えばもっと面白いことが分かった」と気づく瞬間があると思います。そういう知的な興奮を味わえるよう、能動的に取り組んでみましょう。



データサイエンスの分野は流れが速いため、「習って終わり」ではなく、むしろここをスタートとして、知識をアップデートしていく必要があります。成熟したデジタル社会においては、専門家ではなくとも私たち一人一人が、データサイ

エンスやAIについて主体的に、自由に発言できることが望ましいと思います。その素地となるさまざまな知見を、SiDSで培っていきましょう。

学生の皆さんには、まず楽しんでほしいと思います。データサイエンスは「理系のもの」ではありません。最近話題に上ることの多い生成AIは、むしろ「文系」のシーンでこそ利用が見込まれます。楽しみながらどんどん使って、自分ならではのデータサイエンスやAIの活用方法を探してほしいです。そして、これから次々と現れる新技術を見極め、取捨選択する眼を養ってほしいと願っています。

### SDGsと地域交流テーマにフリーマーケット開催

商・渡辺ゼミとSENDAI-Kaffeeがコラボ



にぎわいを見せたフリーマーケット

#### 地域とともに

社会貢献活動

地域マーケティングやSDGsについて学ぶ商学部・渡辺達朗ゼミの3年次生16人が、フリーマーケットを企画・運営を担当した渡辺ゼミ生

フリーマーケットを企画。5月20日、神田キャンパス10号館1階中庭で開催した。SENDAI-Kaffeeとのコラボレーション企画で、「専修大学と神田神保町をつなぐ」SDGsについて考える「をテーマに「SenshuUxEdMarket」を立ち上げた。当日は企業や店舗、住民などが約50ブースを出店。多くの人が会場を訪れ、買い物や学生との交流を楽しんでいた。ゼミ長の古川京人さんは「活動を通して、学んできたSDGsを自分ごととして感じられるようになった」と話した。